

**UCCのアクション**  
**(エチオピア ベレテ・ゲラ森林での活動)**

**2020年2月20日**

**UCC上島珈琲株式会社**

**R&D本部 製品開発部 嗜好品開発チーム**

- エチオピアは、かつて国土の50%を森林が占めていたが、現在は11.2%までに減少。
- エチオピア政府より森林減少を食い止めたいために日本政府へ依頼。
- 国際協力機構(JICA)が、プロジェクトを開始。  
プロジェクト名:ベレテ・ゲラ参加型森林管理プロジェクト  
期間:2003年~2012年
- 森林に自生している森林コーヒーに着目。ルールをつくり森を守る代わりに、そのメリット(現金収入の増加)が住民に認識できるような仕組みを構築させる。



## 国際環境NGOレインフォレスト・アライアンスの認証取得



### 【プロジェクトの成果】

	2009/10	2010/11	2011/12	2012/13
認証コーヒー買付量合計(kg)	76,911	76,363	169,402	106,505
認証プレミアム合計(万円)*	563	394	(未確定)	(未確定)

1ブル(現地通貨)=5円で計算



- 当社がベレテ・ゲラ森林のコーヒーを導入後、JICAより「品質」を上げたいとの相談あり。
- プレミアム価格での販売を開始したものの、品質面で問題を抱えている。

## 「品質改善プロジェクト」をJICAとUCCで開始



1. コーヒーチェリーがなるべく熟すタイミング(70~80%)を待って収穫を行い、歩留まりを向上させる。
2. チェリーをアフリカンベッドに干す段階で、丁寧に色分けし、販売ルートを明確にさせる。
3. 乾燥中に雨や朝露によって、チェリーが濡れるのを防ぎ、豆へのダメージをなくすため、ブルーシートをかける。

ある程度の成果が現れてきたため、現在他地区も訪問調査中。